2025年度 総合型選抜 法学部 解答又は解答例及び出題意図

科目名	文章読解力審査
解答又は解答例 及び出題意図	
<p>〔解答又は解答例〕</p> <p>ほとんどの問いが記述式で、解答は一義的に決まるわけではないため、公表しない。</p> <p>〔出題意図〕</p> <p>成城大学法学部総合型選抜1次試験・文章読解力審査の出題意図は、法学・政治学についての論理的かつ主張のある文章を正確に読み、理解したうえで、その内容や関連する事柄について文章で的確に表現する力があるかを問うことである。</p> <p>本年度は、ロシアによるウクライナ侵攻など、「戦争」が日常的なニュースとなる中で、戦争がもたらす利益と戦争にかかる負担を比較するという視点（帰結主義）から、戦争が許容されるべきか否か、また、その視点の限界を論理的に考察する文章の理解力、および、その理解に基づき自己の見解を展開する能力を審査した。</p> <p>出典は、松元雅和『平和主義とは何か』（中公新書、2013年）、第3章「戦争はコストに見合うか——帰結主義との対話」である。問題文は一部改変している。</p>	